

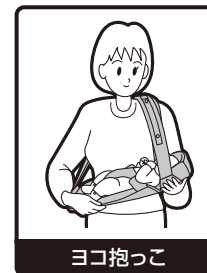
子守帯

COLANBIGI

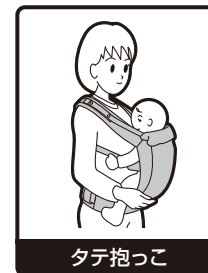
(コランビギ)

取扱説明書／保証書

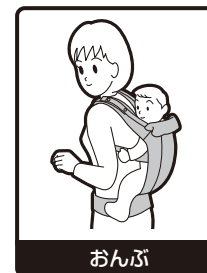
新生児から体重15kgまでのお子さま1人用子守帯です。



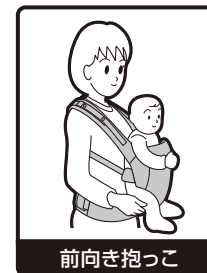
ヨコ抱っこ



タテ抱っこ



おんぶ



前向き抱っこ

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。

本書に記載されている以外の方法でご使用されると、製品の機能が充分発揮できないだけでなく大変危険です。本書をお読みにになった後は、いつでも取り出せる場所に必ず保管してください。

もくじ

ご使用前に

安全にお使いいただくために 2

ご使用上の注意 3

製品を取り出した時に 5

バックルの使い方 6

よだれパッドの使い方 6

各部の調節方法 6

ヨコ抱っこ〈新生児から 体重7kgまで〉

ヨコ抱っこの準備 7

ヨコ抱っこの装着方法 8

ヨコ抱っこの降ろし方 9

新生児シートの取り付け 10

新生児シートの取り外し 12

タテ抱っこ〈首がすわってから 体重13kgまで〉

タテ抱っこの準備 13

タテ抱っこの装着方法 13

月齢が小さい時 16

おやすみカーテン 16

おんぶハーネス 17

おんぶ〈首がすわってから 体重15kgまで〉

おんぶの装着方法 18

タテ抱っこからおんぶへ 20

おやすみカーテン 22

月齢が小さい時 23

おんぶの降ろし方 23

前向き抱っこ〈ひとり座りができてから 体重13kgまで〉

前向き抱っこの装着方法 24

前向き抱っこの降ろし方 26

その他

子守帯の折りたたみ方 27

Q&A 29

点検について 31

お手入れについて 31

SGマーク制度について 32

保証とアフターサービスについて 33

保証書 34

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13

お客様サポートセンター TEL 0120-415-814

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL 0570-004-155

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

ホームページ <http://www.Aprica.jp>

〈お願い〉

○本書の内容について、誤りや記載もれなどお気づきの点がありましたら、弊社お客さまサポートセンターまでご連絡ください。

○製品の品質向上のため予告なしに一部仕様変更する場合がありますのであしからずご了承ください。




○上記ホームページ(<http://www.Aprica.jp>)にて使い方動画やQ&Aを確認することができます。そちらもあわせてご覧ください。

子守帯について

- この製品は、お子さまを抱っこやおんぶして、外気浴、買い物の時などに使用するための1人用子守帯です。
ご使用前にP5「各部の名称」をご確認ください。

表示内容について

- 「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したもので、大変重要な内容です。必ずお守りください。

表 示	表 示 の 内 容
 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。
表 示	表 示 の 内 容
	製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止しています。

使用できるお子さまの月齢について

- お子さまの発育は個人差がありますので月齢表示は目安にしてください。

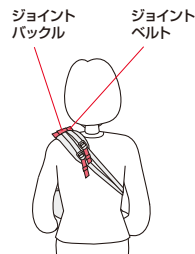
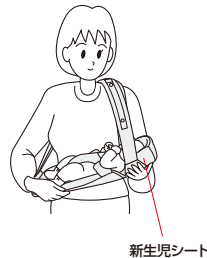
参考月齢	0カ月	首すわり (4カ月頃)	ひとり座り (7カ月頃)	24カ月頃	36カ月頃	体 重
ヨコ抱っこ	新生児から (4カ月頃まで)					7kgまで
タテ抱っこ	首がすわってから (24カ月頃まで)					13kgまで
前向き抱っこ	ひとり座りができてから (24カ月頃まで)					13kgまで
おんぶ	首がすわってから (36カ月頃まで)					15kgまで

※お子さまの衣類の厚みや体格によっては使用できない場合があります。

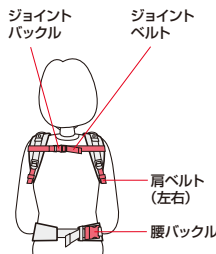
安全にお使いいただくために

- ご使用の際は、バックルを必ずとめてください。とめないで使用するとお子さまが落下し思わぬ事故やけがををするおそれがあります。
○ベルトの長さを装着者の身体にあわせて、きつめに調節してください。お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたりするとお子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下しけがををするおそれがあります。

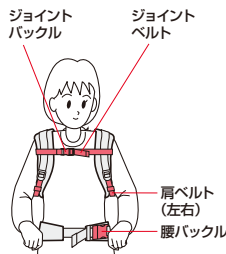
ヨコ抱っこ



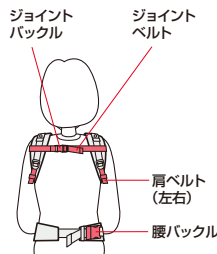
タテ抱っこ



おんぶ



前向き抱っこ



※腰ベルトサイズ:74cm～118cm。
※体型によって冬場など厚着の時には使用できない場合があります。

ご使用上の注意

○ここに記載した内容は非常に重要です。よくお読みになり、必ず守ってください。



誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

肩バックル、腰バックル、ジョイントバックルを外した状態で使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



肩ベルト、腰ベルト、ジョイントベルトは必ず調節し、緩めた状態で使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



走ったり、跳んだり、前かがみなどの無理な姿勢をとらない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



首のすわらない、お子さまにヨコ抱っこ以外の抱き方で使用しない。
お子さまが体調を損なうおそれがあります。



タテ抱っこ、前向き抱っこでは、体重13kgを超えるお子さまに使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



おんぶでは、体重15kgを超えるお子さまに使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



ポケットには、とがったものを入れない。
お子さまが、けがをするおそれがあります。



授乳後30分以内や、連続2時間以上使用しない。
お子さま、使用者が体調を損なうおそれがあります。

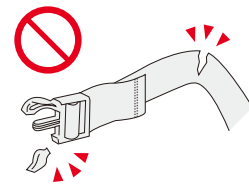


誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

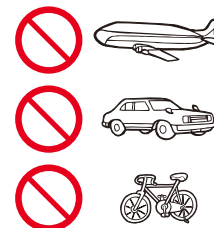
ベルトの先端の返し縫い部をほどいたり、切り落とした後に使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずがある状態では使用しない。
お子さまが落下し、けがをするおそれがあります。



飛行機、車、自転車、バイクでは使用しない。



お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。



誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

バックルは使用していない時も外したままにしない。



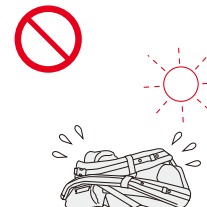
タテ抱っこでは足元が見えにくくなる場合がありますので歩行には充分注意してください。



火気の取り扱い中や、ストーブなど火の近くに放置しない。



直射日光のあたる場所に保管しない。変色や劣化が早まります。



その他、荷物などの運搬や、お子さまを抱っこ、おんぶする以外の目的での使用。

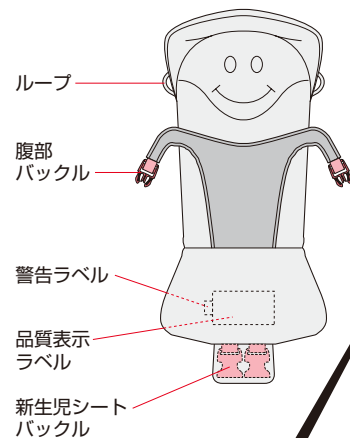


製品を取り出した時に

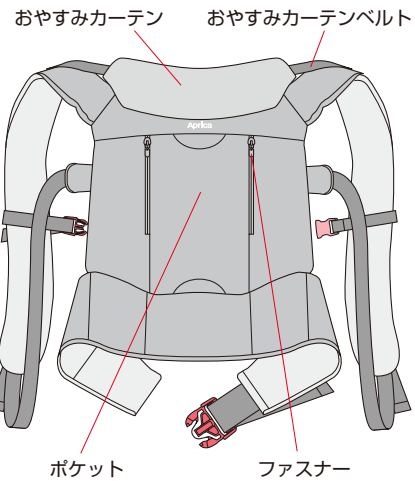
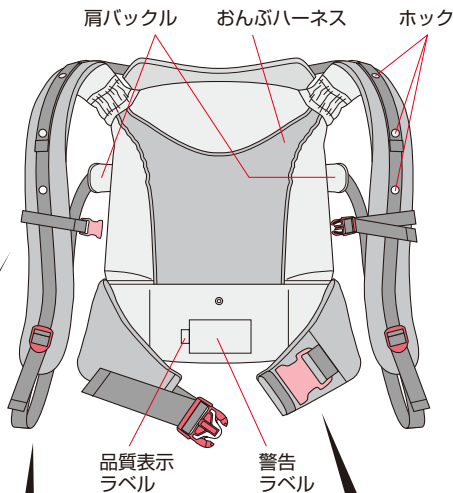
- 製品を取り出した後は、部品が揃っているか、破損がないかを確認してください。
- 欠品や破損の際は、お買い上げの販売店または弊社お客様サポートセンターまですみやかにご連絡ください。

〈各部の名称〉

■新生児シート



■子守帯(本体)



※品番・ロット番号は品質表示ラベルに記載されています。

〈付属品〉



取扱説明書



よだれパッド

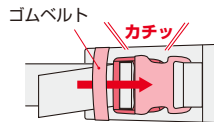
バックルの使い方

- バックルを必ずとめてください。

〈腰バックル〉

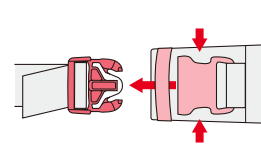
とめ方

- 腰バックルをゴムベルトに通し、腰バックルをとめる。



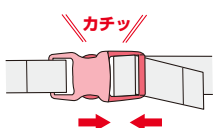
外し方

- 腰バックルを外し、腰バックルをゴムベルトから抜き取る。

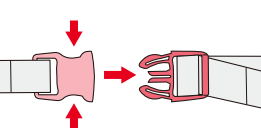


〈ジョイントバックル・肩バックル〉

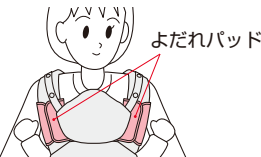
とめ方



外し方



よだれパッドの使い方



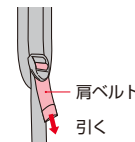
- 肩ベルトに巻き付け、面ファスナーでとめる。
(折り返しが、お子さまの顔の外側に向くようにする。)

各部の調節方法

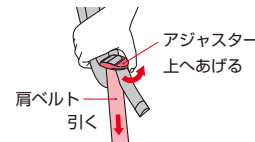
- ベルトの長さを装着者の身体にあわせてきつめに調節してください。
お子さまと装着者の間にすき間がありすぎたり、左右のベルトの長さが違うと、お子さまの予期せぬ動きに対応できず、落下し思わぬ事故やけがをするおそれがあります。

〈肩ベルト〉

短くする時

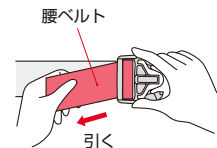


長くする時

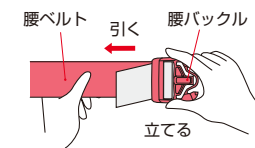


〈腰ベルト〉

短くする時

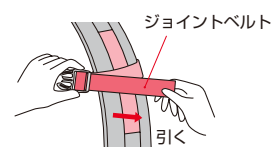


長くする時

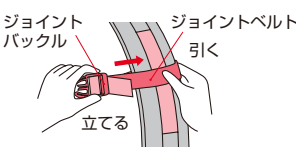


〈ジョイントベルト〉

短くする時



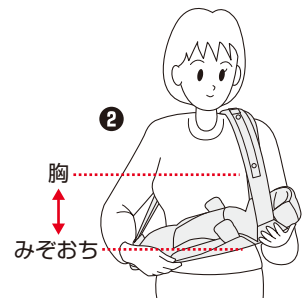
長くする時



ヨコ抱っこの準備

※開封時は新生児シートがセットされています。
※お子さまを乗せる前に、使用者の身体に肩ベルトがあうように長さを調節します。

- ①左右の肩ベルトを重ねて、子守帯を肩から脇へ斜めにかける。
- ②肩ベルトの長さを調節し、高さやアングルを確認する。

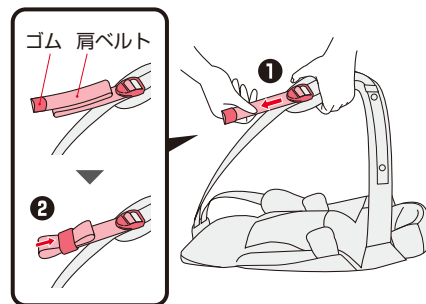


アドバイス

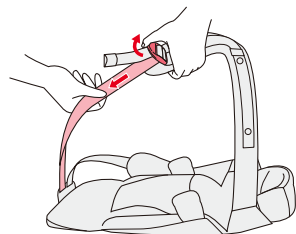
○子守帯の位置は、使用者のみぞおちより上、胸より下を目安にしてください。

＜高さの調節＞

- ①子守帯の位置が低い時は肩ベルトを短くする。
- ②ベルトをゴムでまとめる。



- 子守帯の位置が高い時は肩ベルトを長くする。



＜アングルの調節＞

- 使用者の身体に近い方の肩ベルトを短めに調節(10cm程度)すると、お子さまをより安定して抱っこできます。

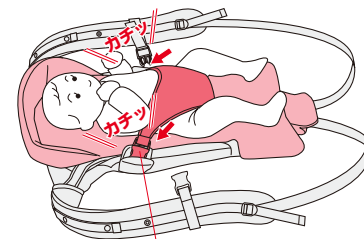


ヨコ抱っこの装着方法

※新生児シートが取り付けられていることを確認してください。

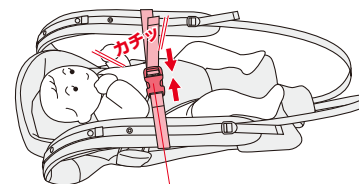
(つづく)

- ①新生児シートにお子さまをのせ、腹部バックルをとめる。



腹部バックル

- ②ジョイントバックルをとめて、左右の肩ベルトを重ね、ジョイントベルトの長さを調節する。



ジョイントバックル

- ③重ねた肩ベルトを肩から脇へ斜めにかける。



アドバイス

- 必ず両手をそえてください。
- 肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しておいてください。
- 取り付け後、P9. ヨコ抱っこの確認を必ずしてください。

警告

- ヨコ抱っこでは寝返りのできるお子さまや、体重7kgを超えるお子さまに使用しない。
お子さまが落下するおそれがあります。
- お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

ヨコ抱っこの装着方法 (つづき)

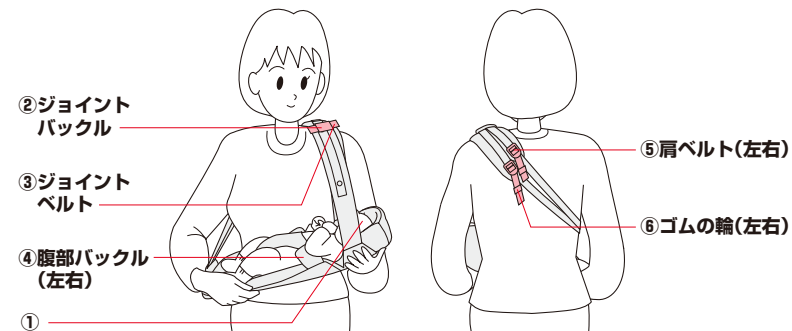
- ④鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。
正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



○正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

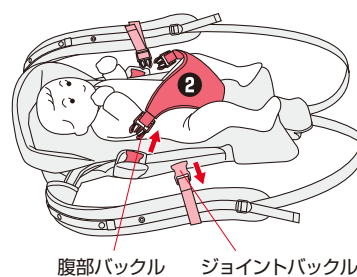
ヨコ抱っこの確認

- ①お子さまの頭部がお尻より高い
- ②ジョイントバックルが確実にとまっている
- ③ジョイントベルトを調節している
- ④腹部バックルが確実にとまっている
- ⑤肩ベルトを調節している
- ⑥肩ベルトの端部が長い時はゴムの輪でまとめている



ヨコ抱っこの降ろし方

- ①お子さまを寝かせ、肩ベルトを外す。
②ジョイントバックルと腹部バックルを外し、お子さまを降ろす。



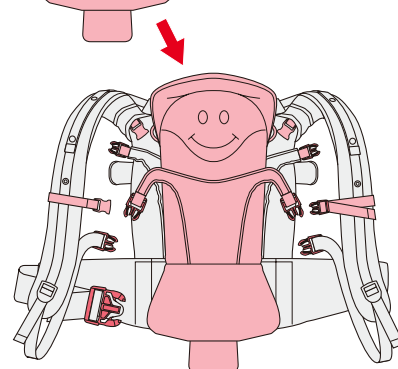
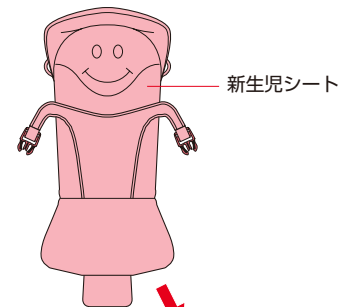
○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

新生児シートの取り付け

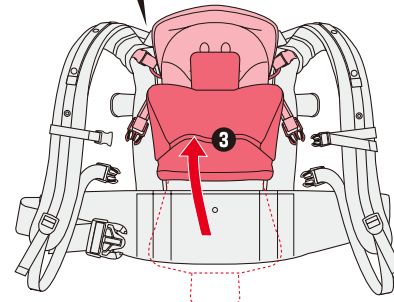
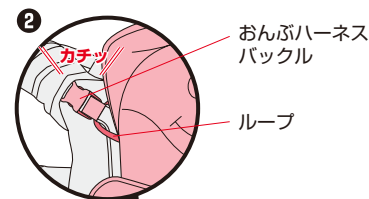
※開封時は新生児シートがセットされています。

(つづく)

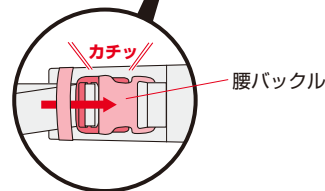
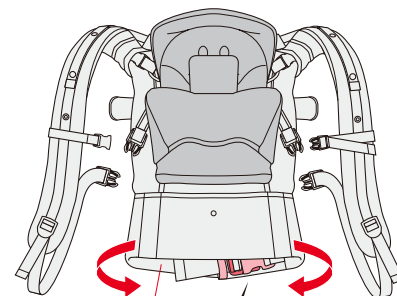
- ①バックルを全て外した子守帯の上に新生児シートをのせる。



- ②おんぶハーネスバックルをループに通してとめる。(左右)
③新生児シートの下側を折り返す。



- ④腰バックルをとめて腰ベルトをまとめる。

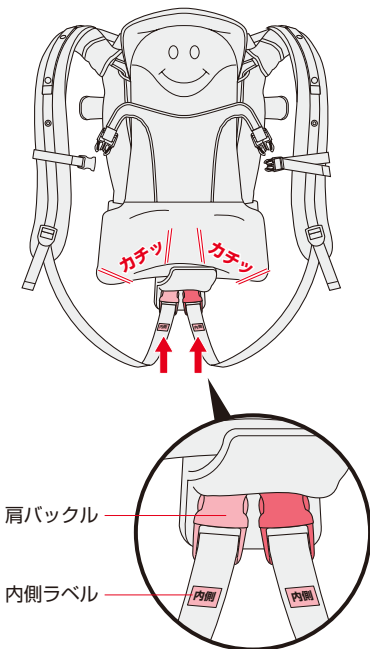
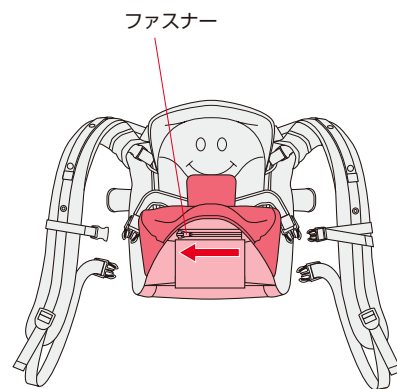
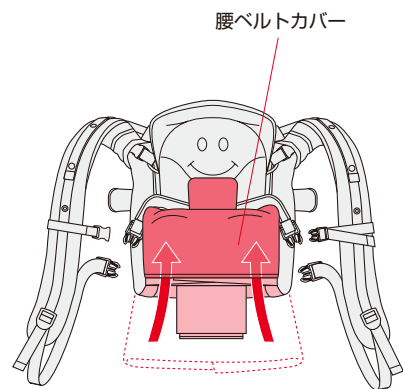


新生児シートの取り付け (つづき)

⑤ たたんだ腰ベルトを腰ベルトカバーの中に入れる。

⑥ 新生児シートの腰ベルトカバーの中のファスナーと子守帯本体のファスナーをとめる。

⑦ 左右の肩バックルを同じ色同士、新生児シートバックルにねじれないようにとめる。



○ファスナーをとめずに使用すると、バックルが破損した場合にお子さまが落下するおそれがあります。

アドバイス

○内側ラベルが上図の向きになっているか確認ください。

新生児シートの取り外し ※開封時は新生児シートがセットされています。

① 肩バックルを新生児シートバックルから外す。

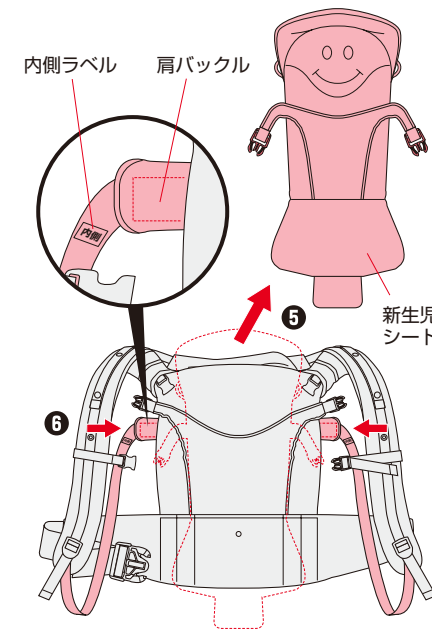
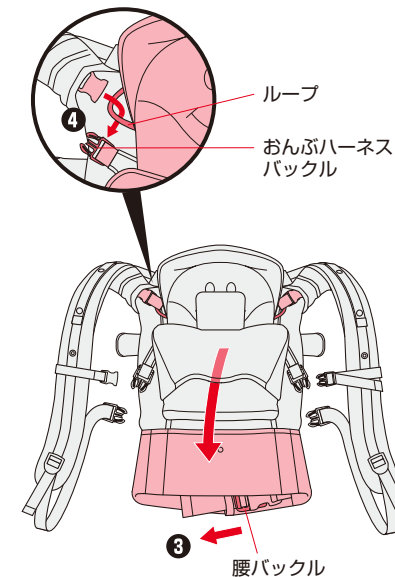
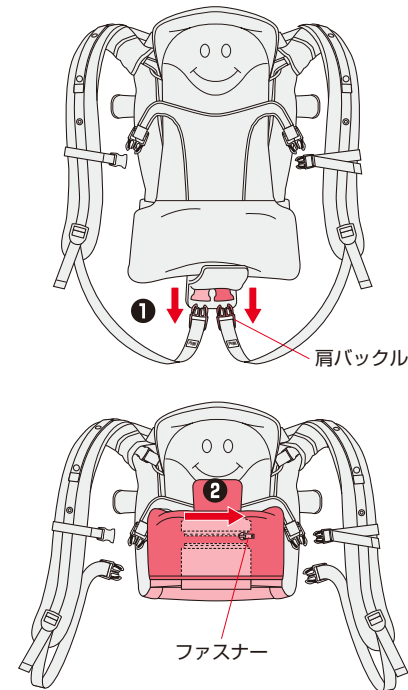
② 腰ベルトカバーの中のファスナーを外す。

③ 腰ベルトを腰ベルトカバーから出し、腰バックルを外す。

④ おんぶハーネスバックルを外す。

⑤ 新生児シートを取り外す。

⑥ 肩バックルをねじれないようにとめる。



アドバイス

○内側ラベルが上図の向きになっているか確認ください。

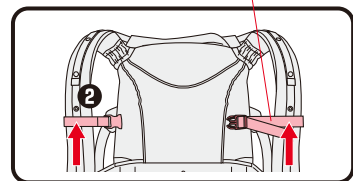
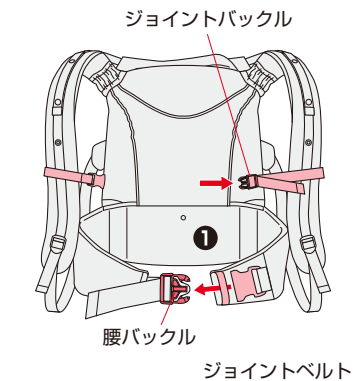
タテ抱っこの準備

○脚部を露出したお子さまに使用された場合、肌に子守帯の跡がついたり、稀に肌がこすれて赤くなることがあります。その場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯に直接触れないようにしてください。

- ①腰バックルとジョイントバックルを外す。
- ②ジョイントベルトを上にはずす。

アドバイス

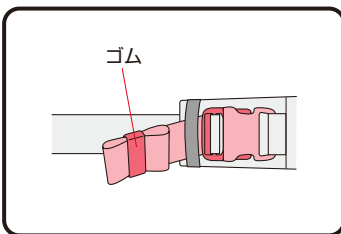
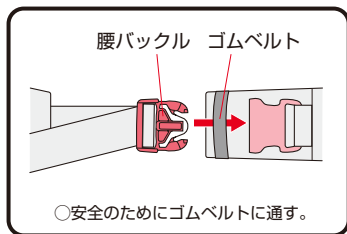
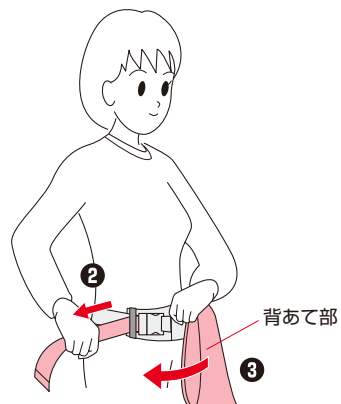
○ジョイントベルトを上にはずすと、後で(P14⑥)首の後ろでジョイントバックルがとめやすくなります。



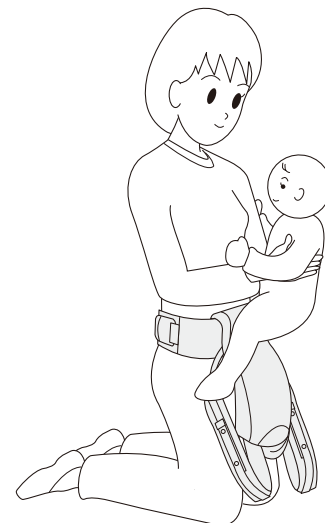
タテ抱っこの装着方法

※新生児シートが取り外されているか確認してください。

- ①腰バックルをゴムベルトに通して、とめる。
- ②腰ベルトを調節し、あまったベルトをゴムでまとめる。
- ③背あて部を正面にする。

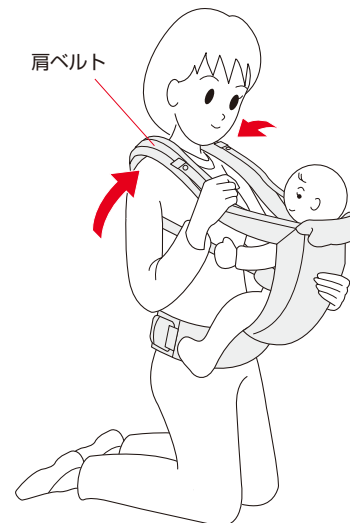


- ④お子さまを抱き上げ、子守帯に乗せる。
- ⑤左右の肩ベルトをかける。



警告

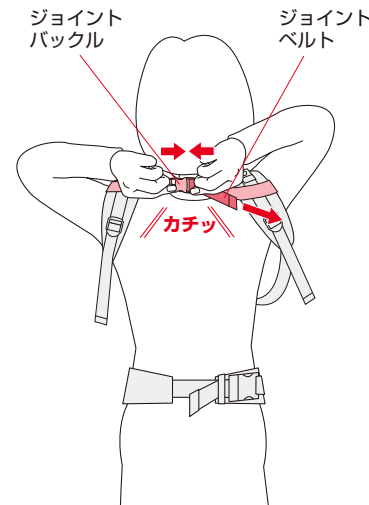
○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



アドバイス

○お子さまの腕は、肩ベルトの外側でも内側でも構いません。外側に出している時に、お子さまが反り返る場合は、肩ベルトの内側に腕を入れてください。

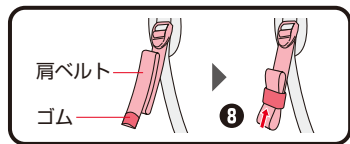
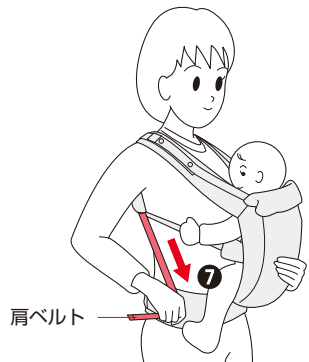
- ⑥首の後ろでジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。



(つづく)

タテ抱っこの装着方法 (つづき)

- ⑦左右の肩ベルトを調節し、お子さまの位置を調える。
- ⑧ベルトをゴムでまとめる。



アドバイス

- 肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- 取り付け後、タテ抱っこの確認を必ずしてください。

警告 ○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

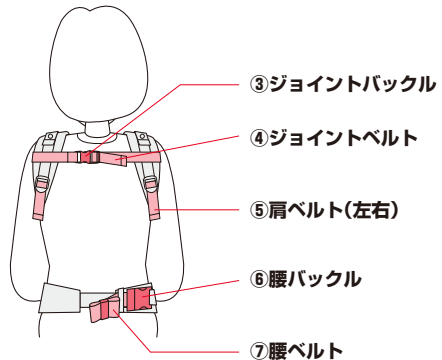
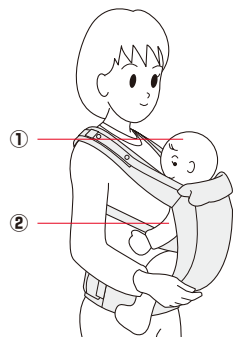
- ⑨鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。
正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



○正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

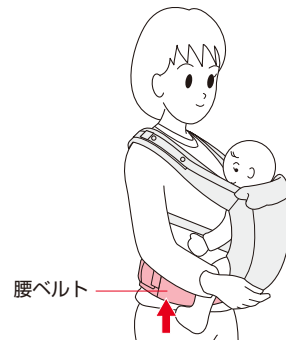
タテ抱っこの確認

- ①お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
- ②お子さまの両腕が出ている
- ③ジョイントバックルが確実にとまっている
- ④ジョイントベルトを調節している
- ⑤肩ベルトを調節している
- ⑥腰バックルが確実にとまっている
- ⑦腰ベルトを調節している

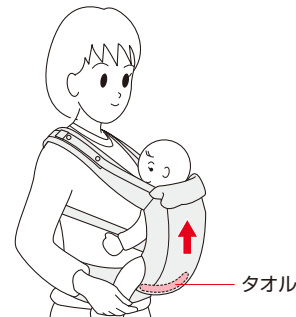


月齢が小さい時

- お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。



- お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。



おやすみカーテン

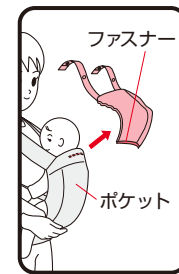
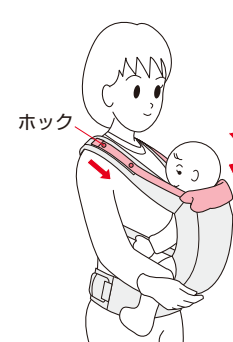
- お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
- 風よけや日差しよけにもなります。

〈使用しない時〉

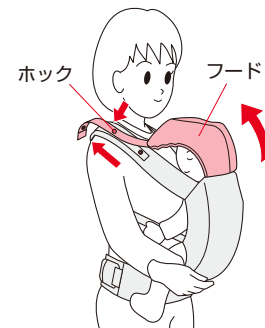
- ホック位置を下げて付け、フードを二つ折りにする。又はファスナーを取り外し、ポケットに収納する。

〈使用する時〉

- ①左右のホックを外す。
- ②お子さまにフードをかぶせ、左右のホックをとめる。



〈収納する時〉



○フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。



○お子さまが眠って後ろに反り返る場合は使用を中止してください。

おんぶハーネス

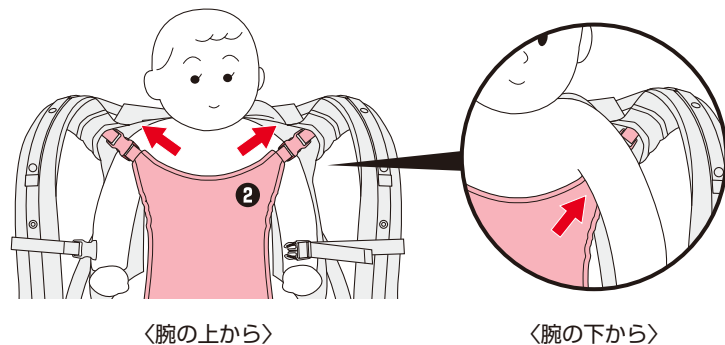
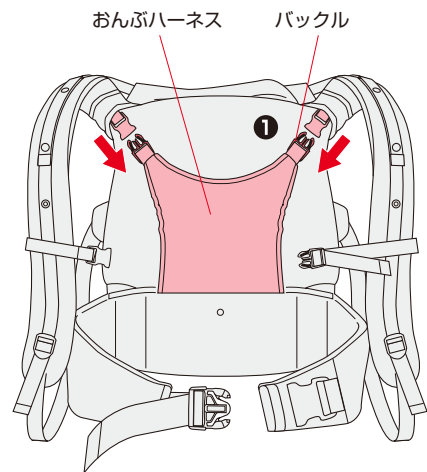
○タテ抱っこ時も、おんぶハーネスを使用できます。使用すると、お子さまがより安定します。

①おんぶハーネスのバックルを外す。

②お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

アドバイス

- お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。
- タテ抱っこ時、おんぶハーネスを使用すると「抱っこからおんぶへ」の切替がより安定してできます。



おんぶの装着方法

※新生児シートが取り外されているか確認してください。

(つづく)

①腰バックルとジョイントバックルを外す。

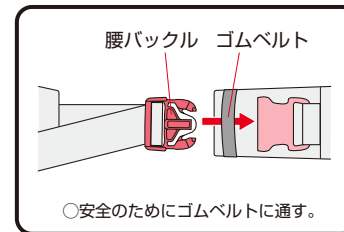
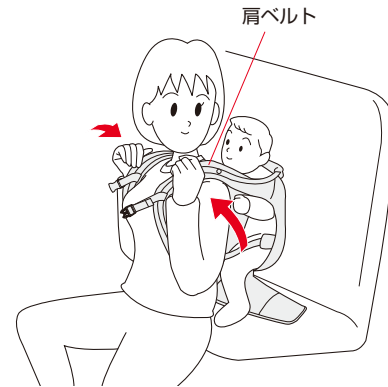
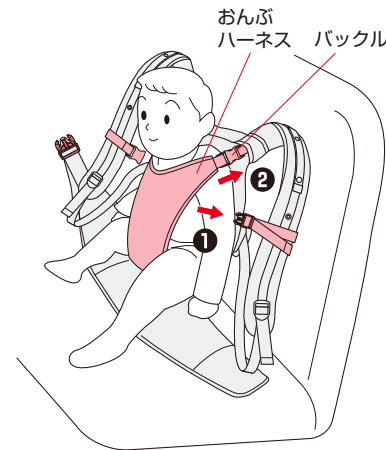
③左右の肩ベルトをかける。

④前かがみの体勢で腰バックルをゴムベルトに通し、とめる。

②お子さまを乗せて、おんぶハーネスのバックルをとめる。

アドバイス

- お子さまの成長に合わせて、おんぶハーネスのバックルを腕の上から又は、腕の下からとめる。
- おんぶの時は、おんぶハーネスをご使用すると、より安全にお子さまをおんぶできます。



○安全のためにゴムベルトに通す。



○お子さまを乗せる時は、必ず安全な場所で行う。
特に、ひとり座りができる前のお子さまをおんぶする際には他の人に手伝ってもらったより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。



○お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。



○お子さまの足が腰ベルトと装着者の間に挟まらないように注意してください。

首すわり〜体重 15 kg

おんぶ

おんぶの装着方法 (つづき)

- ⑤ お子さまのお尻の位置が腰ベルトより高くなるように調節する。
(左右の肩ベルトを調節したり、腰ベルトの位置を下げる。)

- ⑥ 腰ベルトを調節して、あまったベルトをゴムでまとめる。
⑦ ジョイントバックルをとめ、ジョイントベルトを調節する。

- ⑧ 左右の肩ベルトを調節する。
⑨ ベルトをゴムでまとめる。

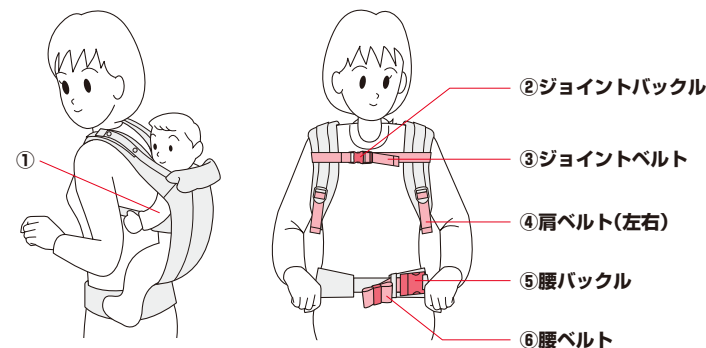
- ⑩ 鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してください。
正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



○正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

おんぶの確認

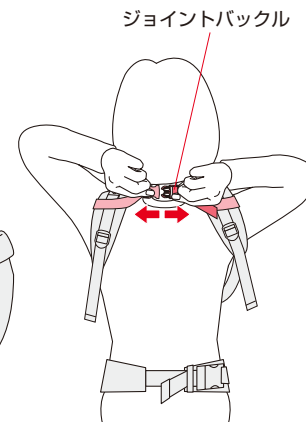
- ① お子さまの両腕が出ている
② ジョイントバックルが確実にとまっている
③ ジョイントベルトを調節している
④ 肩ベルトを調節している
⑤ 腰バックルが確実にとまっている
⑥ 腰ベルトを調節している



○装着者が痛みや不快を感じた場合は使用を中止してください。特に、授乳期のお母さまは、乳房を圧迫するおそれがあります。

タテ抱っこからおんぶへ (つづく)

- タテ抱っこ時、おんぶハーネスを使用している場合に限り可能です。
① タテ抱っこの状態でジョイントバックルを外す。



アドバイス

○お子さまが装着者の腰に安定する位置にする。

アドバイス

- 肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
○取り付け後、P20. おんぶの確認を必ずしてください。

タテ抱っこからおんぶへ (つづき)

②左右の肩ベルトを肩から外し、
まとめる。

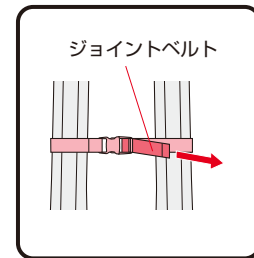
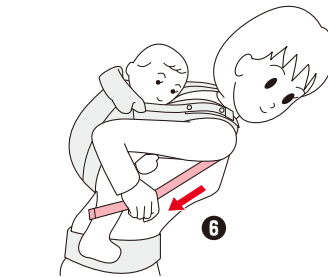
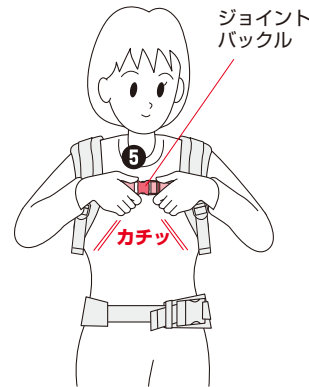
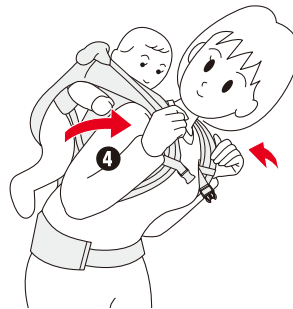
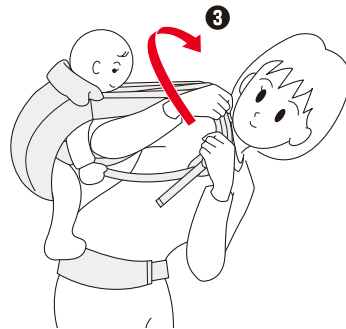
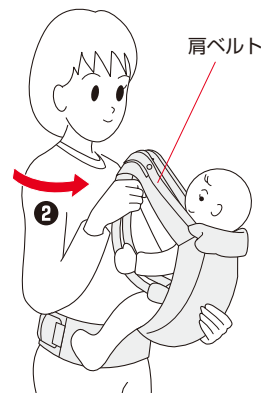
③肩ベルトをしっかり持ち、お子さまを支えて
背中側にまわす。

④左右の肩ベルトをかける。

⑤ジョイントバックルをとめ、
ジョイントベルトを調節する。

⑥左右の肩ベルトを調節し、あまったベルトをゴムで
まとめる。

⑦鏡などに姿を映して、おんぶの状態を確認してくだ
さい。正しくできていない場合は、もう一度取り付
け、調節を行ってください。



⚠️ 警告
○抱っこからおんぶへ変える時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらいより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

⚠️ 警告
○お子さまの状態に注意しながら使用する。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

⚠️ 警告
○正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

○肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
○取り付け後、P20. おんぶの確認を必ずしてください。

おやすみカーテン

○お子さまが寝た時などに使用すると首が安定します。
○風よけや日差しよけにもなります。

〈使用しない時〉

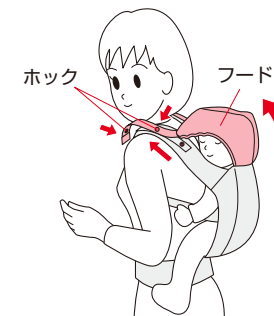
●ホック位置を下げた付け、フードを
二つ折りにする。又はファスナーを
取り外し、ポケットに収納する。

〈使用する時〉

①左右のホックを外す。
②お子さまにフードをかぶせ、
左右のホックをとめる。



〈収納する時〉

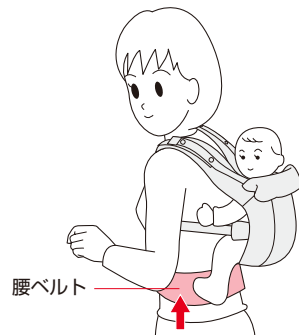


⚠️ 警告
○フードを使用する際は、特にお子さまの様子に注意してください。
気道がふさがると窒息するおそれがあります。

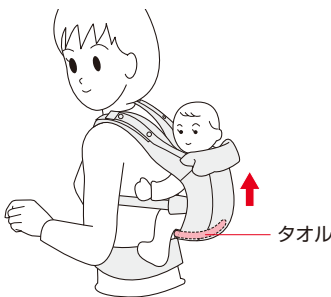
⚠️ 注意
○お子さまが眠って後ろに反り返る場合は使用を中止してください。

月齢が小さい時

- お子さまの月齢が小さいうちは、腰ベルトを高い位置でとめると、より安定します。

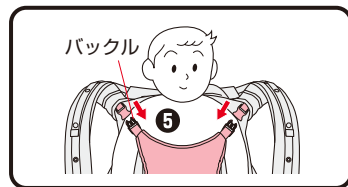
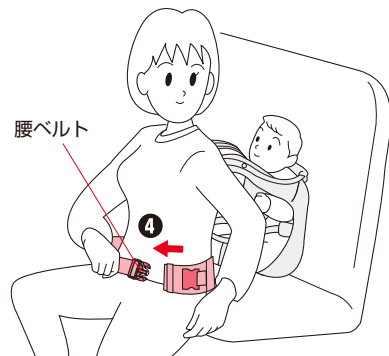
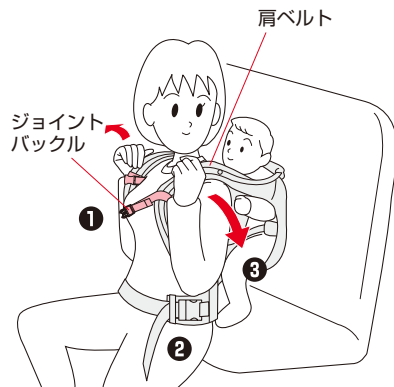


- お子さまのお尻の下にタオルを入れ、高さを調節してください。



おんぶの降ろし方

- ①ジョイントバックルを外す。
- ②お子さまをゆっくり降ろす。
- ③肩ベルトを外す。
- ④お子さまを降ろし、腰ベルトを外す。
- ⑤おんぶハーネスのバックルを外す。



アドバイス

○イスが無い場合は、おんぶからタテ抱っこに戻して（P21⑥→④→③→②参照）、安全な場所にお子さまを降ろしてください。

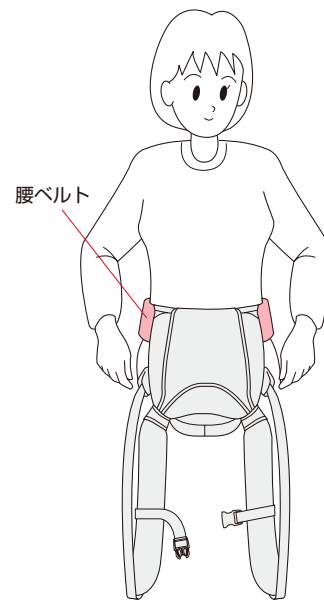
警告 ○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。他の人に手伝ってもらったより安全です。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

前向き抱っこの装着方法

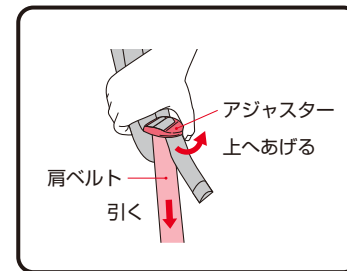
※新生児シートが取り外されているか確認してください。

（つづく）

- ①P13「タテ抱っこの装着方法」の1～3を参照して腰ベルトをとめる。
- ②肩ベルトを長めに調節する。
- ③おやすみカーテンを外す。（P16参照）
- ④お子さまの体をおんぶハーネスの中に入れるようにお子さまを前向きに子守帯にのせる。

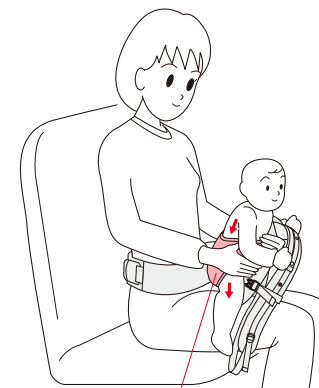


〈長くする時〉



アドバイス

○肩ベルトを長めに調節すると、お子さまのをせやすくなります。



おんぶハーネス

前向き抱っここの装着方法 (つづき)

⑤左右の肩ベルトを両肩にかける。

⑥首の後ろでジョイントバックルをとめ、
ジョイントベルトを調節する。

⑦肩ベルトを調節する。

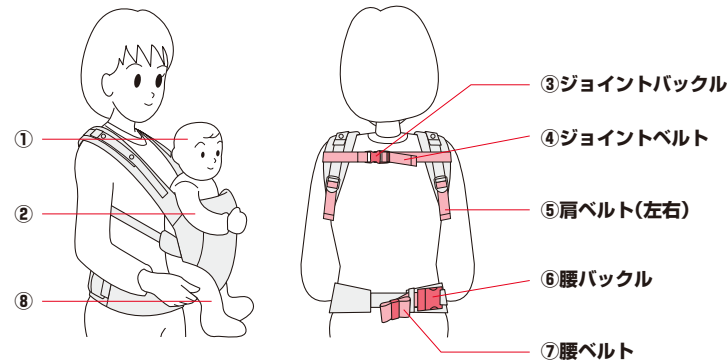
⑧鏡などに姿を映して、抱っこの状態を確認してください。
正しくできていない場合は、もう一度取り付け、調節を行ってください。



○正しく装着されていないと、お子さまが落下したり思わぬ事故につながるおそれがあります。

前向き抱っこの確認

- ① お子さまの頭部が装着者の視界の妨げにならない
- ② お子さまの両腕が出ている
- ③ ジョイントバックルが確実にとまっている
- ④ ジョイントベルトを調節している
- ⑤ 肩ベルトを調節している
- ⑥ 腰バックルが確実にとまっている
- ⑦ 腰ベルトを調節している
- ⑧ お子さまが足を自由に曲げることができる



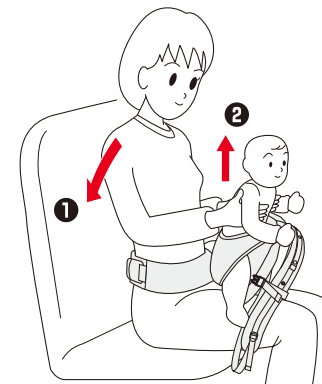
アドバイス

- 肩や腰に負担がかかる場合は肩ベルト、腰ベルトを調節しなおしてください。
- 前向き抱っこの使用は30分程度を目安としてください。
- 取り付け後、P26 前向き抱っこの確認を必ずしてください。

前向き抱っここの降ろし方

①安全な場所に座り、ジョイントバックルを外し、肩ベルトを外す。

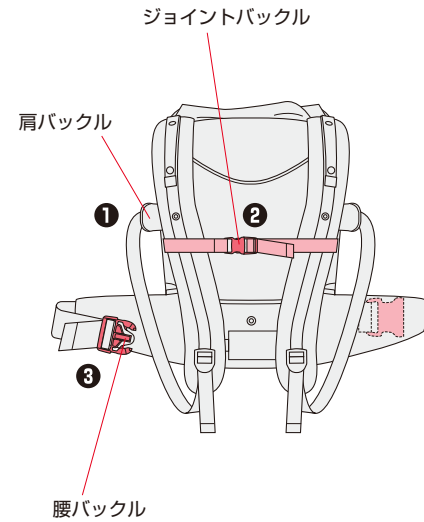
②お子さまを降ろす。



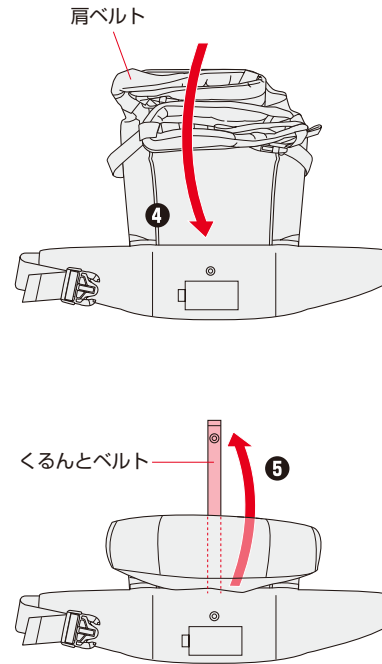
○お子さまを降ろす時は、必ず安全な場所で行う。
不安定な場所などでは、お子さまが落下するおそれがあります。

子守帯の折りたたみ方

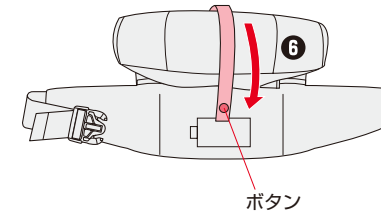
- ①肩バックルをとめる。(左右)
- ②ジョイントバックルをとめる。
- ③腰バックルを外して、子守帯を広げる。



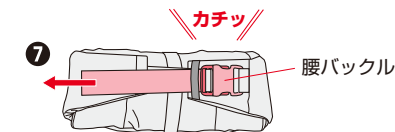
- ④左右の肩ベルトをまとめて、折りたたむ。
- ⑤腰ベルトからくるんとベルトを引き出す。



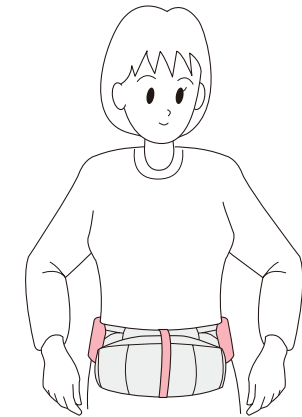
- ⑥くるんとベルトを巻き付けホックをとめる。
- ⑦腰バックルをとめて、腰ベルトを調節する。



〈折りたたむ時〉



○下図のように、腰ベルトを着用したままでもご使用いただけます。



Q&A

Q おんぶハーネスは子どもの腕の上でとめるべきですか？それとも腕の下でとめるべきでしょうか？

A お子さまの成長にあわせてどちらでもご使用いただけます。
目安として腰すわり前のお子さまには、おんぶハーネスのバックルを腕の上から、腰すわり後のお子さまには、おんぶハーネスのバックルを腕の下からとめてあげるようにしてください。

Q タテ抱っこの時、体が埋もれる感じになり、子どもの顔が見えない状態ですが、このまま使用してもいいですか？

A お子さまの身長に対して背あて部分が高い場合は、お子さまのお尻の下にタオルなどを敷いて、お子さまの高さを調節してあげてください。また、腰ベルトを少し高めのウエストあたりに装着するようにしてください。(P16, P23参照)

Q 腰ベルトをどのあたりに装着すればよいですか？

A 一般にウエストより少し下の、腰骨あたりに装着すると、より負担が軽減されます。お子さまの身長にあわせて、適切な位置に調節してください。

Q ベルトの余りが長く垂れ下がって気になります。

A ベルトはゴムでまとめることができます。(P7参照)

Q ヨコ抱っこ装着時の子守帯の適切な位置がわかりません。

A はじめに肩ベルトの長さを調節して、子守帯の位置が使用者のみぞおちより上、胸より下を目安にしてください。(P7参照)

Q タテ抱っこの時、子どもの肩が外に出てしまうのですが、大丈夫でしょうか？

A お子さまの腕が外に出てしまっても、使用上の問題はありせん。ただし、特に腰すわり前のお子さまは上半身が不安定ですので、手で支えるようにしてあげてください。

Q 子守帯の生地と子どもの肌が触れる部分が赤くなる時があるのですが…。

A お子さまの肌に子守帯の跡がついたり、肌がこすれて赤くなる場合は、肌の露出部を覆う服を着せるか、露出部にタオルなどを当てて、子守帯が直接触れないようにしてください。

点検について

- ご使用前に、バックルなどの部品が破損したり、ベルトや生地などに破れ、ほつれ、きずが無いことを確認してください。異常がある状態で使用すると、事故につながるおそれがあります。

お手入れについて

〈軽度の汚れの場合〉

- 濡らせた布でたたいて落としてください。その後、形を整え日陰で平干ししてください。

〈子守帯本体(おやすみカーテンを含む)・新生児シートを洗濯される場合〉



○子守帯本体・新生児シート・おやすみカーテンについては洗濯機、脱水機、乾燥機は使用しないでください。バックルやファスナーなどの破損につながるおそれがあります。

- 蛍光剤入りの洗剤を使用すると、移染することがありますので、使用しないでください。
- 色落ちするおそれがありますから、他の物とは別に洗濯してください。
- 子守帯本体は30℃以下の水で押し洗いし、よだれパッドは40℃以下の水で洗濯し、形を整えて干してください。
- 漬け置きしないでください。
- 洗濯後、充分乾燥させて使用してください。乾燥が不十分な場合、カビなどが発生する可能性があります。
- 漂白剤を使用しないでください。

〈よだれパッドを洗濯される場合〉



- 洗濯の際は、洗濯ネットをご利用ください。

SGマーク制度について



SGマーク付き製品は安全性が高く、安心してお使いいただけるものですが、製品安全協会では損害保険会社と生産物賠償責任保険の契約を結んでおり、SGマーク付き製品の欠陥により、人身被害が生じたと認められる場合、事故原因、被害の程度などに応じて、賠償措置を実施します。
ただし、子守帯の場合、ご購入後3年以内の製品が対象となります。

賠償についてのご注意

SGマーク被害者救済制度は、SGマーク付き製品の欠陥によって傷害などの身体的な損害(人的損害)について賠償する制度です。この制度は、SGマーク付き製品そのものが故障した場合に補償するものではなく、また、SGマーク付き製品の欠陥によって他の物に生じた損害(物的損害)を賠償するものではありません。

製品の欠陥によって事故が起きた場合

事故が起きたら、すぐに製品安全協会へ連絡してください。

連絡後、製品安全協会から送付されてくる事故発生届等を提出していただきます。(原則として60日以内)

製品安全協会 〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪2階
TEL 03-5808-3300

〈事故の届出に必要な項目〉

- ①事故の原因となったSGマーク表示の製品
イ)製品の名前、SGマーク番号 ロ)製品の購入先、購入年月
- ②事故発生の状況
イ)事故発生年月日 ロ)事故発生場所 ハ)事故発生状況
- ③被害の状況
イ)被害者の氏名、年齢、性別、職業、住所 ロ)被害の状況と程度

保証とアフターサービスについて

- 保証期間中(お買い上げ日より1年間です。)に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償にて対応をいたします。
ただし、製造中止後の製品については、対応出来ないこともあります。

アフターサービスについての連絡先

アプリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合(通話料お客様負担) TEL **0570-004-155**

受付時間:AM10:00~PM5:00(土、日、祝日、弊社所定休日を除く)

.....
〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0231 奈良県奈良市都祁吐山町2364-5
アプリカ 奈良サービスセンター ☎(06)4300-4949